

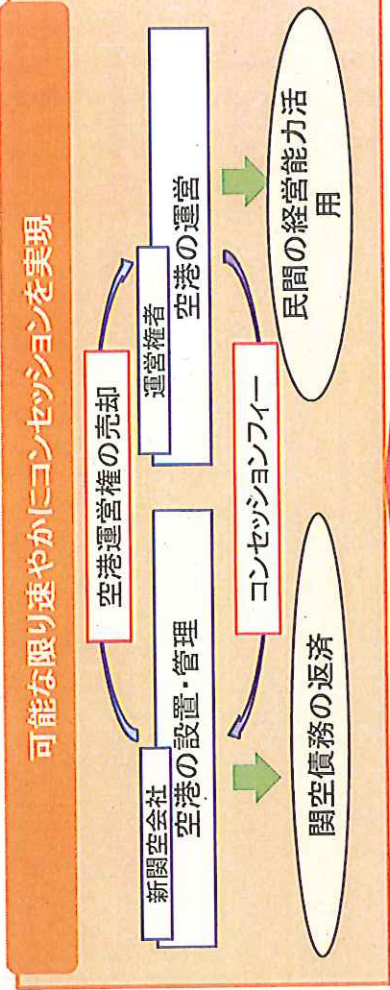
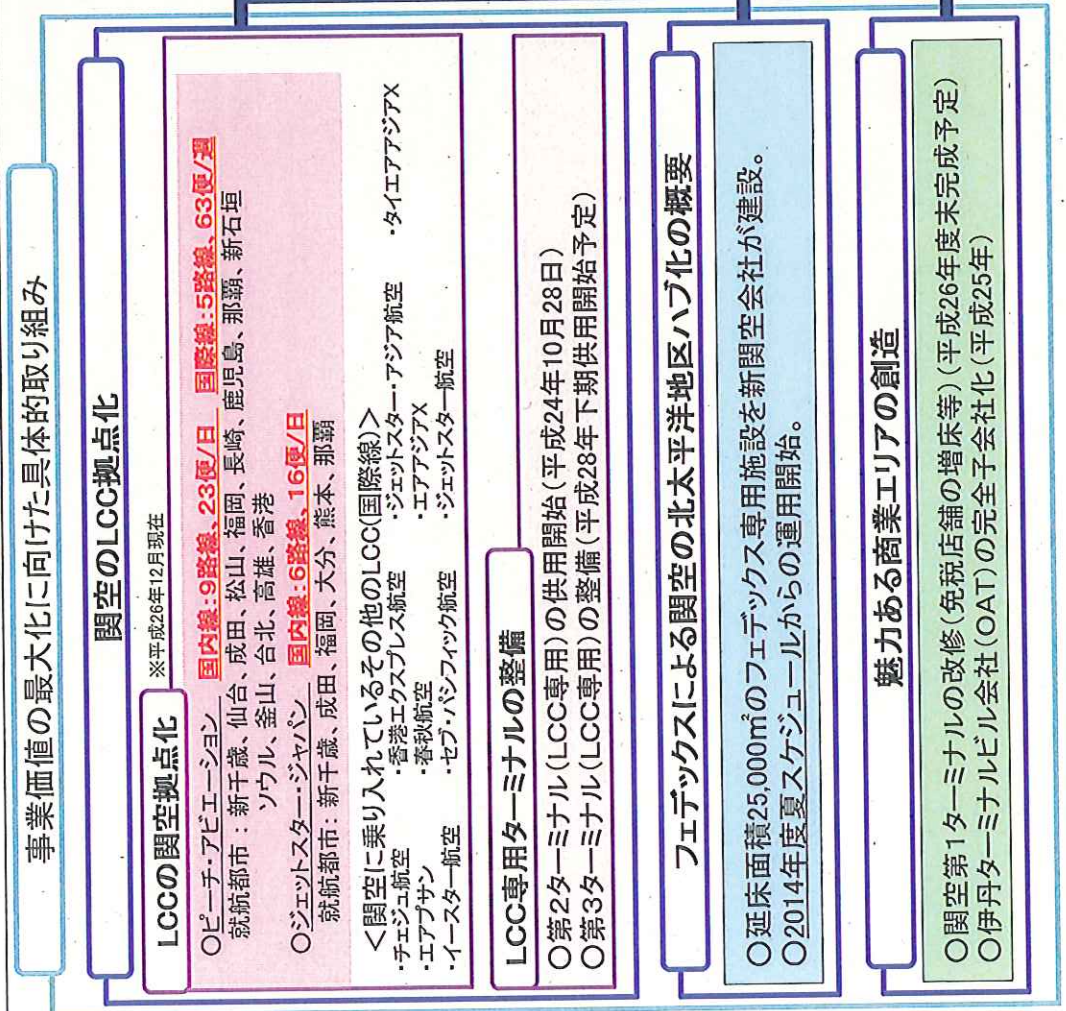
関空・伊丹のコンセッションに向けた取組

- 関西空港・伊丹空港のコンセッションは、経営統合法に基づき、**関西空港の国際拠点空港としての再生・強化、両空港の適切かつ有効な活用を通じた航空輸送需要の拡大、関空債務の早期・確実な返済**等を目的としている。
- 新関空会社は、関空・伊丹両空港を一体的に運営し、LCCによる**関空拠点化**や**米国フェデックス社の北太平洋地区ハブ化**等事業価値の向上を図るとともに、**平成27年度中のコンセッションによる運営委託**を目指す。
- 7月25日に、新関空会社は**PF法に基づき実施方針を策定・公表**。11月12日に、新関空会社は**関心表明書を受け付けた者に募集要項等を配布開始**。

新関空会社中期経営計画(平成24年10月公表)における成長目標 (平成26年度までの目標)

① 発着回数	: 23.1万回	⇒	30万回
② 旅客数	: 2,677万人	⇒	3,300万人
③ 貨物量	: 82.5万トン	⇒	100万トン
④ 売上	: 1,188億円	⇒	1,500億円
⑤ EBITDA	: 426億円	⇒	605億円

・数値は全て関空・伊丹の合計。
 ・赤字の数値は平成26年度目標値。
 ・ただし、売上については、伊丹のみ平成22年度実績値。
 ・EBITDAは営業利益+減価償却費で算出。



「日本再興戦略」改訂2014(平成26年6月24日閣議決定)の具体化

「PPP/PFIの活用については、我が国における独立採算型等のPF事業の推進等を行うために……関西空港・伊丹空港等における取組が先行して進められている。」

「公共施設等運営権方式について、2016年度末までの3年間を集中強化期間に設定し、この期間内に達成すべき数値目標(空港6件、下水道6件、水道6件、道路1件)を設定する。さらに2022年までの10年間で2~3兆円の事業規模を達成する目標を2016年度末までの3年間に前倒しする。」

関西国際空港の概観

二期事業範囲

B滑走路(4000m)

平成19年8月2日供用

LCC関連施設

[平成24年10月28日供用開始]

Fedexの北太平洋地区ハブ施設

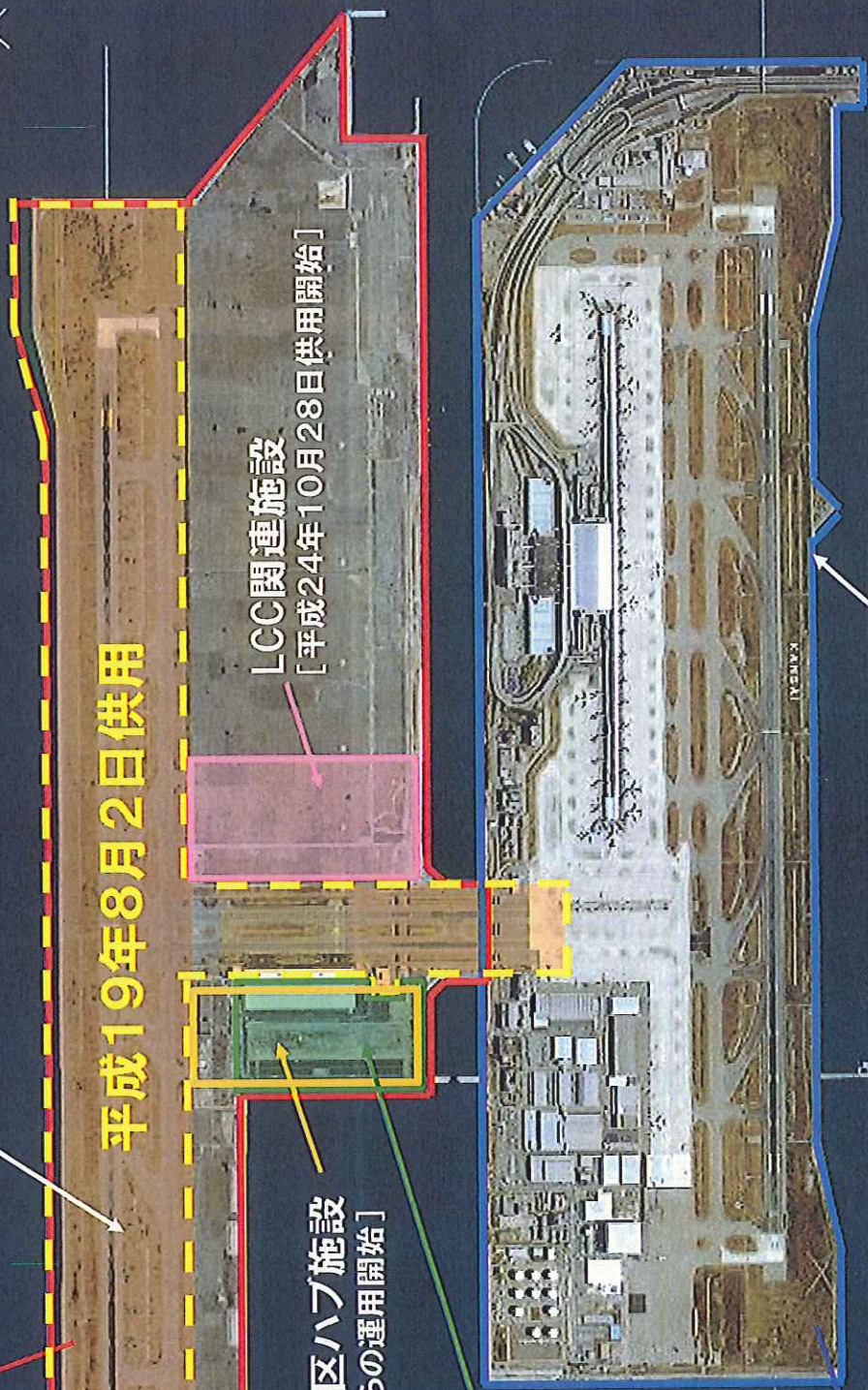
[平成26年夏スケジュールからの運用開始]

二期国際貨物地区

[平成21年4月9日供用開始]

一期事業範囲

A滑走路(3500m)



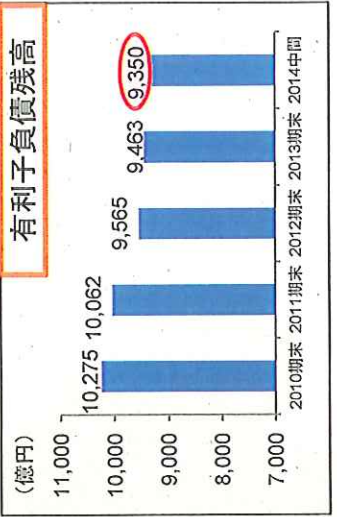
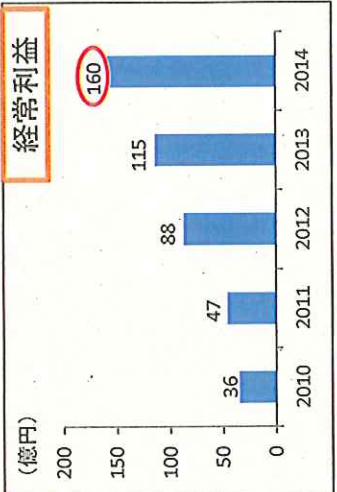
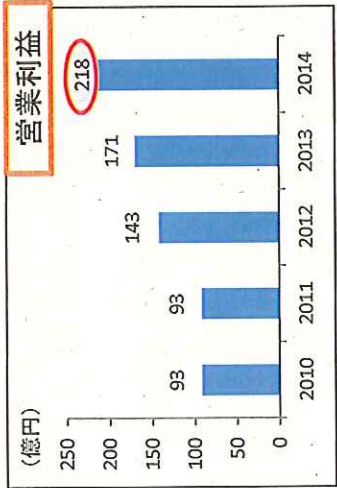
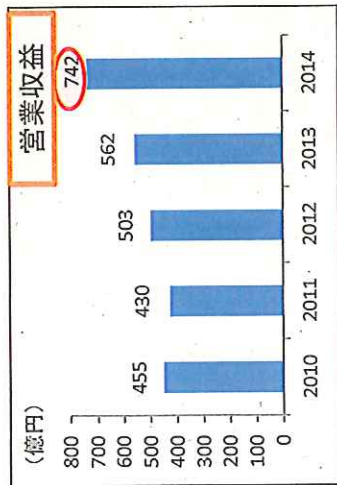
平成26年度新関西空会社中間決算の概要（平成26年11月公表）



国土交通省

中間連結決算の経営指標

※2012年度は、旧関西国際空港(株)連結(4~6月) + 新関西国際空港(株)連結(4~9月)
 ※伊丹空港は2012年7月より計上、OATグループは2013年10月より連結対象



平成26年度中間連結決算

区分	中間期(4月1日～9月30日)			通期(4月1日～3月31日)		
	H25年度実績 A	H26年度実績 B	増減額 B-A	H25年度実績 C	H26年度見通し D	増減額 D-C
営業収益	562	742	180	1,268	1,472	204
営業費用	390	524	134	942	1,119	177
営業利益	171	218	46	326	353	27
経常利益	115	160	45	219	239	20
中間純利益/当期純利益	69	97	27	239	128	※ △111

※H25年度にOATグループ連結開始に伴う特別利益として、負ののれん発生益(106億円)を計上したことから、H26年度見通しでは減益見込みとしている。

関空・伊丹コンセッションに係るスケジュール想定

